

校正ノート

No.27
2017.1

栃木県フロンティア認証企業
感謝を込めて情報発信 喜びと感動を創造する
晃南印刷株式会社
□本社・工場：栃木県鹿沼市線町3-8-33
TEL(0289)62-4141㈹
デザイン部 校正担当 中里（内線301）
制作／田村（内線305）
大橋（内線304）

·trivia·

酉を含む漢字

-case01-

酒



酒つぽの中は、もちろん「さけ」。原字は「酉」、つぽの中に酒がかもされて、外へ香気がもれ出るさまを描いた字で、転じて酒造りの杜氏を表す。

-case02-

配

酉（さかつぼ）+人のひざまづいた姿で、人が酒つぼの側にいるさまを示す。そこからそれぞれに物を割り当てる、くばる、また妻（配偶者）の意になった。

-case03-

酣

訓で「たけなわ」、酒宴が佳境に入ること、また物事が最も盛んなさま。甘はふくみ味わうこと。

-case04-

酢

酢は月日を重ねて発酵した汁をねかせておくこと。だから、「す」っぽくなる。

今年は、酉年。

酉の意味は、「十二支の十番め。時刻では午後6時、およびその前後の2時間、方角では西、動物では鶏に当てる。作物をおさめ酒を抽出する十月。のち、十二支の十番めのとりに当てる。」（『漢字源』）

-case05-

酬

州は、まんべんないきわたること。そこから酬は、杯のやりとりをすることになり、むくいるという意味になった。

-case06-

酪



各は、かたまる意。酪は牛・羊・馬などの乳を煮詰めて作った食品を指し、酪農の酪となる。

-case07-

酵

孝は交と同じで、交わること。酵は、酒つぼの中で、原料が上下左右に交わって変化が生じること。発酵の酵。

-case08-

醒

星は、澄み切った天体。醒は、酔いがやんできりと気分が澄むこと、酔いが「さめる」。

-case09-

醤

将は細長い意で、醤は長くたれる、どろどろとした汁。訓で「ひしお」と読み、醤油の醤。

-case10-

醍醐



古代、牛や羊の乳を煮てつくられた乳製品。醍の人はまっすぐの意で、乳の表層にまっすぐ張るバターのこと、醐の胡は糊と同じで、表面にかぶさるのり。美味の最高のものとされ、「醍醐味」の語源。

ONE POINT

酉は「取り込む」、運気もお客様も取り入れるということから、商売繁盛の年とも言われる。
商売繁盛の神様はえびす様、漢字で恵比寿、恵比須とも書く、七福神の一員であり、唯一日本古来の神様である（他はインドや中国に由来する）。商売繁盛=良き経営の神様として、二宮尊徳を祀る神社もある。

言ひらり 言葉のひらり 同音異義語・同訓異義語の使い分け、似た言葉で間違いやさしい使い方等、校正中これでいいのかともやもやした気持で仕事を進めると後悔が悪い。調べると宙に舞っていた言葉の意味がひらりと掌に落ちて、すっきりする。

祝日 祭日 祝祭日

祝日は、「国民の祝日に関する法律」（祝日法）に定める休日。
現在16日ある。

祭日は、1947年（昭和22）に廃止されるまで皇室祭祀令により行われていた皇室の儀式や祭典の举行日で、祝日と合わせて祝祭日と言われていた。

したがって現在は祭日はないが、名残りから俗称として祝祭日という言い方がある。



1月歳時記

- 1日(日) 元日 元は、「はじめ」の意
2日(月) 振替休日 振替休日の規定は「国民の祝日に関する法律第3条2項」にある
5日(木) 小寒 寒の入り。節分（立春の前）までが「寒のうち」
7日(土) 七草 七草粥。若菜は生命再生の象徴で、これを食べることで無病息災、長寿を祈る
9日(月) 成人の日 古くは男子の元服、女子の着物（もぎ）があり、冠婚葬祭の冠に当たる
10日(火) かんぴょうの日 かんぴょう（干瓢）の「干」の字が「一」と「十」とから成っていることから
15日(日) 小正月 小正月の朝、小豆粥を食べると一年間無病息災で過ごせると言われる
いちごの日 いち（1）ご（5）から
20日(金) 大寒 酒・味噌など寒気を利用した仕込みの時期

・栃木県のかんぴょうの収穫量は全国の98%以上

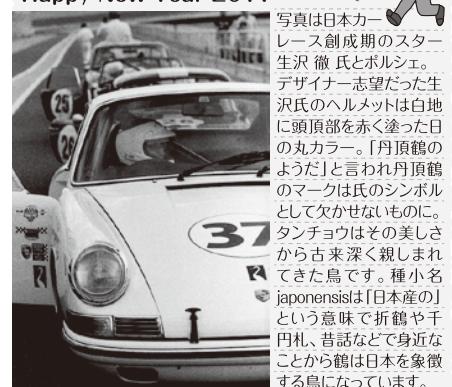
・二人以上の世帯での、いちごへの支出金額及び購入数量で全国1位は宇都宮市。支出金額は4,507円、購入数量は3,867g（総務省統計局「家計調査」平成24～26年平均）。ちなみに、宇都宮市は、鉄道通学定期券、洋食（外食）・ハンバーガー（外食）の支出金額でも全国1位。

かつ背景

新年あけましておめでとうございます！
今年は「初・自分がお年玉をあげる側」の年になりました。自分が子どもの時は、「お正月はお年玉がもらえる日」という認識でしたが、あげる側になってはじめて、お年玉があるかどうかって自分のまわりの大人的な優しさや愛情にかかっていたんだなと感じます。ほのぼの。（デザイン部 田村）

かつ背景

vol.08 Happy New Year 2017



写真は日本第一レース創成期のスター生沢徹氏ボルシェ。デザイナー志望だった生沢氏のヘルメットは白地に頭頂部を赤く塗った日の丸カラー。「丹頂鶴のようだ」と言われ丹頂鶴のマークは氏のシンボルとして欠かせないもの。タンチョウはその美しさから古来深く親しまれてきた鳥です。種小名japonensisは「日本産の」という意味で折鶴や千円札、昔話などで身近なことから鶴は日本を象徴する鳥になっています。